

コナミのデジQトレインは、「鉄道」をテーマに、玩具として楽しめるキュートなデザイン、そして模型としてシミュレーションできるシステムを兼ね備えた、まったく新しいジャンルのホビーアイテムだ。車両はもちろんのこと、レールシステムも多彩にそろい、各自のオリジナリティを活かした幅広い楽しみ方が可能だ。



写真の車両は一部商品と異なります

## 春到来!! 早春の情景を楽しむ!!

### ■無線運転で楽しむ新しい鉄道ホビー

デジQトレインは、赤外線デジタル無線による遠隔操作で運転を楽しむ高性能マイクロトレイン。手元のコントローラを操作すると、その指令は車両に赤外線デジタル信号で通信され、前進・後進の切替えはもちろん、スピード調整、停止など、リアルタイムでさまざまなアクションを演出できるシステムだ。また、電動ポイントレールの切替えも同じコントローラで操作できる。

Nゲージなど従来の鉄道模型は、線路を通じて車両に電気や走行指令を送っている。そのため、従来の鉄道模型ではコントローラと線路や各ポイントを結ぶ配線が必要だった。しかし、赤外線デジタル無線を使うデジQトレインでは配線が一切いらぬ。自分の好きなポジション（車両や電動ポイントレールから約2m以内）で、列車の走りを鑑賞しながら運転することができるのだ。

### ■思い出の情景づくりも楽しめる

デジQトレインの運転は、机や床の上にレールを敷くだけでも楽しめる。単線のストレートレール、カーブレール、ポイントレールを基本に、複線や高架まで多彩にそろったレールシステムを活かせば、好みの線路配置をつくるのが可能だ。

また、「ジオラマ」や「レイアウト」として線路まわりの情景をつくり

込んでいくことも考えてみたい。上の写真は常磐線偕楽園駅をイメージしたもの。日本三大名園のひとつに数えられる「偕楽園」は、100種3000本もの梅が植えられている。そのわきにある偕楽園駅は「梅まつり」期間中（2004年は2月20日～3月31日予定）だけ開設される珍しい駅だ。デジQトレインでも線路わきに美しい梅の花をあしらえば、待ち遠しい春の情景が誕生する。車両は常磐線にちなんだボンネットスタイルの485系や583系がよく似合うだろう。

こうした情景のなかでの運転を楽しむ「レイアウト」に発展させるとき、配線不要というデジQトレインの特性が大きくものをいう。複雑な配線処理に悩むことなく、自由に線路配置を決められるのは、デジQトレインならではの大きな魅力なのだ。

## SPECIAL PRESENT

今回ご紹介した「485系（ボンネットタイプ）」を本誌読者の中から抽選で3名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、官製はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業または学年、電話番号、デジQトレインに対するご意見、そして今後コナミからの情報送付希望の有無をご記入のうえ、〒150-8790 渋谷郵便局私書箱255号「デジQトレイン485系（ボンネットタイプ）プレゼント係」あてにお送りください。応募締切は2004年2月16日当日消印有効。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### ●デジQトレインのホームページ

デジQトレインの車両改造やレイアウト製作など、いろいろな楽しみ方は「Train View.NET（トレインビューネット）」（<http://www.trainview.net/>）、製品紹介、イベント情報、Q&Aなどは「KONAMI/MICROiR」ホームページ内のデジQトレインページ（<http://www.micro-ir.com/train/index.html>）で紹介されている。合わせてチェックしてみよう!

### ●「運転セットDX」新登場!!

電動ポイントレールを含む豊富なパーツアイテムに東海道・山陽新幹線で活躍する300系をベストチョイスしたのが「運転セットDX」だ。このセットだけでいろいろな線路配置を楽しむことができる。しかも、合計1万5000円相当のアイテムが9800円（税別）と超お買い得の価格設定もうれしい。デジQトレインの入門セットとして、またシステムを拡張したユーザーにとっても見逃せない製品といえるだろう。



▲「Train View.NET（トレインビューネット）」



▲運転セットDX